

2020年6月11日

2020年5月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判、巻取共に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、学参テキスト関連・損保約款関連・株主総会関連が動いたものの、チラシ・冊子・その他全般的に仕事の回復が遅れており、前月に引き続き前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 73.6% 巻取 71.5%）

再生紙は給付金関連のお知らせ・説明書等の官公庁関連の大口の仕事が動き、平判は前年をやや下回ったが、巻取は前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 91.8% 再生上質巻取 157.4% 再生上質計 112.5%）

（前年比 印刷用紙 A73.1%）

<A2 コート>

全業界においてコロナ禍での自粛が一層加速し、各種イベントの延期、中止や各企業の販促物を含む印刷物案件全般の需要が大きく減少した。また、新しい生活様式に対応するためメニュー等で脱紙化の模索が優先され平判、巻取ともに前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 61.0% 巻取 56.1% 全体 60.0%）

<A3 コート>

株主総会関連、エステ、健康食品の一部で動きがあったものの、継続的な紙離れに加えて新型コロナウイルス感染拡大防止のためスーパー等小売店のチラシ自粛や学習塾、量販店、旅行等の定期案件の動きも無く前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 62.5% 巻取 73.4% 全体 69.5%）

<ノーカーボン紙>

新型コロナウイルスの影響を受け、生損保、金融関連の動きも弱く、一般その他の帳票の動きも平判に関しては非常に弱く巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 56.5% 巻取 85.2%）

<上質フォーム>

新型コロナウイルスによる自粛要請の影響を受け、生損保、金融、官庁関連の納付書はじめ、一般の動きも非常に弱く、一部給付金の動きも見られたが前年を大幅に下回った。

（前年比 77.3%）

<包装用紙>

特殊両更は特別給付金、官公庁関連で特需の動きがあり、前年を大きく上回った。

(前年比 138.1%)

両更晒は特別給付金関係の特需と証券会社関連の動きがあったものの、新型コロナウイルスで外出自粛要請もあり専門店向け手提袋、包装紙の需要が減少した事もあり前年を下回った。

(前年比 98.1%)

その他品種も新型コロナウイルスの影響でインバウンド需要の減少や外出自粛など消費低迷により動きが低調で軽包装(前年比 89.9%)、片艶晒(前年比 91.1%)、純白ロール(68.8%)、色クラフト(79.0%)と軒並み前年を下回った。

包装紙合計で 86.7%と前年を下回った。

<板紙>

依然として新型コロナウイルスの影響のため、大型連休中も自粛などの影響により、行楽地の土産物などが減少、デパートなどの菓子関連や POP、什器関係も影響を受け低調であったが、レトルト食品や持ち帰り用のトレーなどは比較的堅調であった。しかし全体的には低調で前年を下回った。

(前年比 83.1%)